

地域再生プロジェクト調書

市町村名	せたな町
------	------

1 地域再生プロジェクト概要（プロジェクト全体）

実施主体	市町村名：せたな町 民間団体名：北檜山恵福会・大成慈恵会・社会福祉協議会・株式会社日総・有限会社大成ハイヤー・有限会社東ハイヤー・福祉サポート「かもめ」・高齢者事業団・せたな町姉妹都市交流推進協議会・北海道健康づくり財団・財団法人貝取潤温泉公社	計 1市町村 11団体
プロジェクト名	生涯せたな町で暮らすプロジェクト	
地域の課題及び地域再生プロジェクトの目標	<p>地域の課題</p> <p>当町は、平成17年9月に北部檜山三町が合併しており、旧町各々の有している歴史や特徴を生かしながら、行政と町民が一体となって旧町の隔たりを越えて新たなまちづくりを進めていく事が最も重要と考えるが、現状においては未だ一体感が欠如しており、まちづくりを進めていく中での課題も山積している状況である。</p> <p>基幹産業である農林業・漁業は、国外からの安価な輸入産物による価格の低迷、資源の乱獲による資源枯渇など、長きに亘る一次産業の低迷や後継者不足、若年層の都市圏への流出により、生産力の低下及び購買力の流出による地域経済基盤の弱体化が著しく、商工業においては大型店の進出等により市街地の空き店舗が増加傾向にあり、乏しい公共交通機関、また未整備道路箇所も多いという地理的条件は、新規での企業進出の足枷となっており、雇用の場も非常に少ない。</p> <p>こうした一次産業の低迷等により、雇用の場が限られた状態では、若年層の都市圏への流出を食い止めることは難しく、少子高齢化を加速させる要因となっており、高齢者比率は年々増加し、中心地以外の多くの集落では、構成する世帯が高齢者という状況である。今後更なる少子高齢化、過疎化はコミュニティの本質である住民相互の交流・支え合いが困難となり、地域コミュニティ機能の弱体化、更には地域そのものの消滅にも繋がりがねないという強い危機感を持っている。</p> <p>現状のような高齢化が進んでいる当町の医療体制については、平成19年4月に3町立病院のうち、2町立病院を診療所として再編したものの、高度医療機器が少ない町内の医療施設では、都市圏の医療機関へ受診する依存度が非常に高く、救急医療においても搬送に多大な時間を費やさざるを得ない地理的条件も重なり、町民の健康と福祉に対する不安は大きなものがある。</p> <p>また、高齢社会による保健・福祉・医療分野での行政の役割や負担が更に増大し、特に社会保障に係る財政負担は極めて大きくなる事が予想され、町民の望む声が最も大きい「医療と福祉の充実」が、町に課せられた命題とも言える。</p> <p>プロジェクトの目標</p> <p>こうした実態と町民の声を真摯に受け止め「一生涯安心してせたな町で暮らせる環境づくり」を目指し、高齢者をはじめ、健康に対する認識の希薄化が見られる若年層も対象とし、健康づくりを町民と行政が一体となって取り組み、健康に対する知識と自主的な健康づくりへの取り組みの意識の高揚を図るとともに、子育て支援のための環境整備による母子保健の知識普及や充実、生活習慣病予防・介護予防事業を強く推進するとともに、高齢者大学の開講、障害者外出支援サービス等を提供することにより、高齢者や障害者が積極的に社会</p>	

	<p>参加できる体制を築き、在宅介護サービスを実施することにより、介助者である家族等の心身両面に対する負担軽減を図り、併せて地域住民一人ひとりの「助け合う心」が最も重要な柱となるため、身近な地域社会における福祉体制づくりを強化する。</p> <p>その一環として、町内の若者が冬期間に率先して、高齢者夫婦世帯・独居世帯の除雪作業ボランティアを実施、また町職員が地域町内会行事への協力や、意見・要望・提言の把握など「身近なまちづくり担当職員」として各町内会の支援を行っている。</p> <p>生涯安心して生活するためには、「医療・福祉の充実」だけではなく、基幹産業である一次産業の再生も必要不可欠であり、担い手育成や新規就業者への助成、積極的な観光PRにより、「せたな町」の知名度を高めるとともに、国際交流を積極的に取り組むことにより、町の魅力の向上を図り、移住者の増加と若年層の流出を防ぐ施策等を確立し、地域活性化と生産人口の増加へつなげる。</p> <p>さらに、日常生活の安全を確保するため、街路灯新設による防犯体制の強化、一生涯を無駄にしてしまう悲惨な交通事故の撲滅を図るため交通安全啓発活動を推進する。</p> <p>町民と行政が新町としての一体感を自覚し、住民一人ひとりが地域で助け合い、支えあいながら健康で幸せに暮らし続ける事ができる新たなまちづくりを進めるため「生涯せたな町で暮らすプロジェクト」を策定した。</p>					
是正を目指す格差の状況	<p>格差の分野</p> <table border="0"> <tr> <td>社会構造の格差</td> <td>地域経済の格差</td> </tr> <tr> <td>地方行財政の格差</td> <td>医療・福祉の格差</td> </tr> </table>	社会構造の格差	地域経済の格差	地方行財政の格差	医療・福祉の格差	<p>地域経済の格差を客観的に比較する選択指標</p> <p>[一人当たり課税所得 完全失業率 観光入込客数]</p> <p>医療・福祉の格差を客観的に比較する選択指標</p> <p>[少子化率 医師・歯科医師数 医療・福祉就業者数]</p>
社会構造の格差	地域経済の格差					
地方行財政の格差	医療・福祉の格差					
地域重点プロジェクトとの関連性	<table border="0"> <tr> <td>該当</td> <td>地域重点プロジェクト名</td> </tr> <tr> <td>非該当</td> <td>道南の食・文化・歴史を生かした交流促進</td> </tr> </table>	該当	地域重点プロジェクト名	非該当	道南の食・文化・歴史を生かした交流促進	<p>主な取組<道南の魅力の情報発信></p> <p>イベント開催等によるPR</p>
該当	地域重点プロジェクト名					
非該当	道南の食・文化・歴史を生かした交流促進					
期待される効果(指標)	<p>交付金支援期間終了時の成果目標</p> <p>子育て環境の整備や母子保健事業を充実させ、さらには妊婦健診の拡大を図り少子化率の向上に努めたい。</p> <p>【目標値】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化率 H17: 11.6% H23: 11.8% ・高齢化率 H17: 33.4% H23: 33.4% <p>将来的な成果目標(概ね10年後)</p> <p>一生涯安心してせたな町で暮らす環境づくりに努め、移住者の増と若者の都市部への流出を抑えるような魅力あるまちづくりを行い、少子化率の向上を図りたい。</p> <p>【目標値】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化率 H17: 11.6% H27: 11.8% ・高齢化率 H17: 33.4% H27: 33.4% 					
プロジェクトの公表方法	町ホームページ					

2 地域再生プロジェクト構成事業（今年度実施分）

（千円）

No	事業名 実施主体名	事業概要	事業費	財 源 内 訳						交付金 要望額	
				国庫補助 金 等	道 補 助 金 等	市町村補助等		市 町 村 自己財源	民 間 等 自己財源		そ の 他
	補助金等					委 託 費					
1	配色サービス事業 せたな町・株式会社日総（企）・北檜山恵福会（他）・大成慈恵会（他）	独居老人、高齢者夫婦世帯に栄養バランスがとれた食事の提供と安否確認を行う。	12,544	（名称）	（名称）		9,443			（名称）	
									3,101		
2	除雪サービス事業 せたな町・社会福祉協議会（公）・高齢者事業団（公）	冬期間に自力で除雪が困難な高齢者等に対して除雪を実施。	3,000	（名称）	（名称）		2,809			（名称）	
									191		
3	入浴サービス事業 せたな町・北檜山恵福会（他）・大成慈恵会（他）	家庭内での入浴が困難な高齢者及び障害者に対して施設での入浴を実施。	3,296	（名称）	（名称）		3,059			（名称）	
									237		
4	移送サービス事業 せたな町・社会福祉協議会（公）	一般車両による移動が困難な高齢者等に対して、福祉専用車両により医療機関へ送迎する。	180	（名称）	（名称）		180			（名称）	
5	高齢者及び身障者入浴料金助成事業 せたな町・財団法人貝取潤温泉公社（企）	高齢者・身障者が、外出機会を増やし地域と交流する機会を設けるため、町直営の温泉施設を利用する場合、入浴料の助成を行う。	1,704	（名称）	（名称）		1,704			（名称）	660
6	緊急通報サービス事業 せたな町・北海道健康づくり財団（企）	一人暮らしや高齢者夫婦に通報システムを設置し、緊急時の安全を確保及び独居老人世帯等の状況を把握する。	919	（名称）	（名称）			919		（名称）	

No	事業名		事業費	財 源 内 訳						交付金額 要望額	
	実施主体名	事業概要		国庫補助 金 等	道 補 助 金 等	市町村補助等		市 町 村 自己財源	民 間 等 自己財源		そ の 他
						補助金等	委 託 費				
7	障害者外出支援サービス事業	外出が少なくなり がちな交通機関の 利用困難な重度障 害者に対し、外出 の機会を増やし地 域と交流する機 会を設けるため、 外出支援のための タクシー券を交付 。	1,086	(名称)	(名称)	1,086			(名称)	420	
	せたな町・東ハイ ヤー(企)・大成 ハイヤー(企)・ かもめ(企)										
8	介護予防事業	65歳以上を対象 に、転倒予防をは じめ栄養改善や 口腔機能の向上 のための専門講 師を招き、セミ ナーの開催を行う 。	500	(名称)	(名称)			500	(名称)		
	せたな町										
9	家族介護用品支給 事業	在宅で高齢者等 を介護している 家族に対し、介 護用品購入費用 の一部を助成。	960	(名称)	(名称)	960			(名称)		
	せたな町										
10	高齢者支援事業	訪問することによ り高齢者等の 状況把握をし、 生活上の困難の 早期発見等安心 して生活できる よう支援する。	2,160	(名称)	(名称)			2,160	(名称)		
	せたな町										
11	母子保健事業	幼児の健康診査、 子供の健康づく り講座を開催し 母子保健の知識 普及に努める。	988	(名称)	(名称)			988	(名称)	420	
	せたな町										
12	予防接種事業	伝染の恐れがあ る疾病の発生と 蔓延を予防す るための予防接 種の実施。	5,091	(名称)	(名称)			5,091	(名称)	2,340	
	せたな町										

No	事業名 実施主体名	事業概要	事業費	財 源 内 訳						交付金額 要望額	
				国庫補助 金 等	道 補 助 金 等	市町村補助等		市 町 村 自己財源	民 間 等 自己財源		そ の 他
	補助金等					委 託 費					
13	健康づくり推進事業	若年層の健康診査と禁煙治療に対する一部助成を行い、疾病の予防・健康意識の高揚を図る。	2,708	(名称)	(名称)		966			(名称)	480
	せたな町										
14	保育所通園助成事業	保育所の統合により廃止保育園地区から大成保育園へ通園している園児の交通費を助成する。	522	(名称)	(名称)	522				(名称)	240
	せたな町										
15	高等学校通学生徒定期券補助事業	次の世代を担う地域の生徒の健全な育成と教育の場を確保するため、町内に住所を有し路線バスにより檜山北高等学校及び瀬棚商業高等学校へ通学する生徒への定期券購入に対する補助。	2,915	(名称)	(名称)	2,915				(名称)	
	せたな町										
16	高齢者大学	高齢者を対象に様々な講座等を実施し、生涯学習の実践と福祉・交流を促進する。	470	(名称)	(名称)			470		(名称)	180
	せたな町										
17	産業担い手育成事業	町内で新たに産業を営み、また新たに就業する者に支援行う。	1,250	(名称)	(名称)	1,250				(名称)	480
	せたな町										
18	観光PR事業	各メディアに取り上げられた手作りの観光ポスターを作成し、町のPRと活性化に寄与する。	662	(名称)	(名称)			662		(名称)	300
	せたな町										

No	事業名 実施主体名	事業概要	事業費	財 源 内 訳						交付金額 要望額
				国庫補助 金 等	道 補 助 金 等	市町村補助等		市 町 村 自己財源	民 間 等 自己財源	
	補助金等					委 託 費				
19	国際交流事業	姉妹都市提携を結んでいるアメリカ合衆国ハンフォード市との交流を推進する。	980	(名称)	(名称)	980			(名称)	360
	せたな町姉妹都市交流推進協議会(住)									
20	防犯・交通安全対策事業	交通安全に対する意識の高揚を図るため、街頭啓発等を実施する。	376	(名称)	(名称)		376		(名称)	120
	せたな町									
計	事業数[20] 実施主体数[12]		42,311			9,417	16,457	11,166	5,271	6,000

注1 今年度の地域再生プロジェクトを構成する事業について全て記載すること。

2 起債が充当される場合は、その他に整理すること。

3 市町村以外が実施主体であって、住民が主体となっている場合は(住)、公共的団体の場合は(公)、営利企業は(企)、これらの区分に属さない場合は(他)を実施主体名称の後ろに表示すること。また、複数の団体等が実施主体を構成している場合(住・公)のように記載すること。